

福智町議会の窓 議会だより

FUKUCHI TOWN COUNCIL NEWS

2020.12
VOL. 51



主な
内容

議決結果	2-3
決算特別委員会報告	4
常任委員会報告	5~7
一般質問(7議員)	8~15
表紙紹介・編集後記	16

表紙 上野小学校
(場所:福智町上野)

議決結果

令和2年

第3回福智町議会定例会

【会期9月2日～16日】

〔定例会審議内容〕

令和2年（2020年）第3回福智町議会定例会が9月2日（水）から9月16日（水）の会期で開催されました。定例会は、議長・町長・各委員会などの報告に続いて、令和元年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定、令和2年度一般会計補正予算（第6号・第7号）及び特別会計補正予算、8月31日供用開始された金田義務教育学校に伴う条例改正、教育委員会委員の任命、田川地区広域環境衛生施設組合の設立、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書、教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の2分の1の復元を求める請願書、田川郡町村公平委員会委員の選任など報告

2件・認定1件・議案12件・発委2件・請願1件が提出され、すべて可決・承認されました。

また、一般質問は7名の議員が、町の施策や考え方について問いただしました。

《条例改正》

学校及び単独調理場の名称・位置を条例改正！
金田義務教育学校が、8月31日から供用開始されたため、福智町立学校設置条

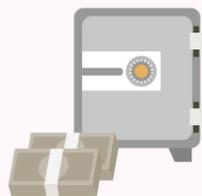
例等が次のように改正されました。
【名称】
・福智町立金田義務教育学校
・福智町立金田義務教育学校単独調理場
【審議結果】
出席議員17名
可決《賛成16 反対0》
議長は除く



一般会計補正予算

令和2年度一般会計補正予算(第6号) 17億9913万1千円を可決！

今回の補正予算は、歳入が前年度繰越金7億5858万6千円、ふるさと納税5億円、国庫補助金4億3492万7千円などの増額。歳出はふるさと納税返礼品（現在までのポイント分を含む）とその手数料3億1135万6千円、新型コロナウイルス感染症支援事業等1億3678万1千円、平成筑豊鉄道誘客事業委託金等2700万円、中山間地域の農用地維持・管理を目的とした直接支払い交付金1963万円、各基金への積立金12億4959万2千円などの増額で追加補正17億9913万1千円を可決しました。今回の追加補正により歳入歳出総額は、それぞれ201億638万4千円となりました。



【審議結果】
出席議員17名
可決《賛成15 反対1》
議長は除く

追加議案で提案された一般会計補正予算

令和2年度一般会計補正予算(第7号) 2270万6千円を可決！

この追加議案は、9月の台風10号の災害復旧費として計上されたもので、町営住宅災害復旧費600万円、町有地の倒木災害復旧費401万1千円と時間外手当など787万1千円の追加補正2270万6千円を可決しました。

今回の追加補正により歳入歳出総額は、それぞれ201億2909万円となりました。

【審議結果】
出席議員17名
可決《賛成15 反対1》
議長は除く



▲福智町立義務教育学校単独調理場

義務教育学校給食



《教育委員会教育委員の任命》

柴田恭子氏を任命！

現在欠員となっている教育委員に、柴田恭子氏（福智町赤池）が議会の同意を得て任命されました。なお、任期は令和2年9月16日から令和4年4月19日までとなっています。



▲しばた やすこ氏

【審議結果】

出席議員17名
可決《賛成15 反対1》
議長は除く

《田川地区広域環境衛生施設組合の設立》

新組合設立を承認！

田川地区8市町村で利用する新しいし尿処理施設（大任町建設中）の管理運営等を共同で処理するため、新しく規約を定める議案が提出され、可決されました。

この規約は令和3年4月1日から施行となります。事務所は田川郡大任町大字大行事2259番地に置かれます。

【審議結果】

出席議員17名
可決《賛成14 反対2》
議長は除く

《意見書の採択》

コロナウイルス感染症に対応する地方税財源確保を求める意見書を可決！
新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしてお

り、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けられない状況になっています。この度、全国町村議会議長会より、地方税財源の確保を求める意見書を国へ提出するよう依頼がありましたので、議会運営委員会が意見書を提出する議案を上程し可決されました。

復元すること。
【審議結果】
出席議員17名
可決《賛成16 反対0》
議長は除く
採択された請願は意見書として、衆・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣に送付することになりました。

《田川郡町村公平委員会委員の選任》

田川郡町村公平委員会委員に香春町の太田博明氏を選任！

職員の権利・利益を保護する、田川郡町村公平委員会委員1名が令和2年9月30日で任期満了となるため後任者として、太田博明氏（香春町中津原）を選任しました。

【審議結果】

出席議員17名
可決《賛成16 反対0》
議長は除く

【請願項目】

福岡県教職員組合田川支部
○計画的な教職員定数改善を推進すること。
○教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に

令和2年第3回定例会出欠表

日 程	属	田寄	石谷	橋本	小松	尾崎	木戸	沼口	朝部	高津	堀江	楠木	日比生	木村	原田	皆川	浦田	矢野
9月2日 本会議第1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月14日 本会議第2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月16日 本会議第3日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

○は出席 ●は欠席

決算特別委員会報告

委員長 日比生洋一 副委員長 尾崎さつき
 委員 属 紀三嗣 高津 鶴己
 楠木 静則 浦田 光由

令和元年度福智町一般会計・特別会計の歳入歳出決算を審査するため、決算特別委員会を設置し、審査を行いました。

主な意見

① 公共施設の利用状況を踏まえ合理化を図るべきである。また、福智町の人口規模を考えると公共施設の統廃合を行い、維持費削減及び人件費削減を図ることが急務である。但し、住民への徹底した説明がなされた上で、理解を求めることが重要となる。

② 診療所の統廃合については、やむを得ないと思うが、早急に住民説明会を行うなど、周知を図り理解を求め経営の合理化を図るべきである。

総括

令和5年度を目前に、各一部事務組合においても大きな建設費負担金の支出を控えており今後の財政運営は大変厳しいものになる。過去の教訓を生かし、赤字再建団体に転落することなく、健全な財政運営となるよう改革の推進ならびに強固な財政基盤の確立に努めていただきたい。

	歳入	歳出	歳入・歳出差引額
一般会計	185億1269万1千円	170億6088万7千円	14億5180万4千円

・基金現在高(令和元年度末普通会計)……………181億3195万9千円(前年度比較 4億3746万3千円減)
 ・地方債現在高(令和元年度末普通会計)……………209億4706万5千円(前年度比較 5億9983万5千円増)

特別会計	歳入	歳出	歳入・歳出差引額
同和地区住宅新築資金等貸付事業	7346万3千円	6707万3千円	639万円
公共用地先行取得事業	0千円	0千円	0千円
国民健康保険	25億5875万6千円	25億6560万9千円	▲685万3千円
後期高齢者医療	2億8008万8千円	2億7905万円	103万8千円
福智町立診療所事業	3億5030万8千円	9億828万7千円	▲5億5797万9千円
田川郡町村公平委員会	229万7千円	47万1千円	182万6千円

※各欄は単位未満四捨五入しています。

その他の意見

- 町の財政状況を判断するための経常収支比率が近年悪化している。
- 新型コロナウイルス感染症による景気の後退により税収が減少している。
- 少子高齢化により地方税等の安定収入が今後減少する見込みである。
- 国民健康保険特別会計及び診療所特別会計は実質収支が赤字となっている。
- 特に診療所特別会計は累積赤字が増加し、経営の悪化が顕著となっている。
- 機構改革による業務の見直しや、人件費の抑制が必須である。
- 事業全体の見直しによる予算減額を求める。
- 改善が進んでいない滞納の繰越分について、繰越額を減少させる措置を求める。
- 人口同規模の類似団体と比較して、福智町は財政規模が1.5倍となっているため、規模を縮小すべきである。

常任委員会報告

各常任委員会で審議した主な質疑
 応答・意見などをご紹介します。

総務文教常任委員会報告

委員長 木戸 勝正 副委員長 石谷 光信 議長 矢野 博文
 委員 朝部 壽・楠木 静則・木村 幸治・浦田 光由
 所管課 総務課 / 出納室 / 防災管理・管財課 / まちづくり総合政策課 / 税務課 / 学校教育課 / 生涯学習課 / 支所 / 議会事務局

主な質疑

令和2年度福智町一般会計補正予算

質疑 ふるさと納税費の合計費用が7億4300万円になっているが、今期の目標額は10億か。それに係る経費が7億4300万円ということか。

答弁 当初は5億円を想定していたが今回10億円を目指すものである。7億の内、福智町はポイント制度を導入しているので過去の寄付に対する返礼品に関する費用が2億円以上含まれている。単年度で見ると経費を差し引いて4割程の純粋な寄付金が町に残る見込みである。

質疑 ふるさと納税の現在の寄付金額は5億円を超えているからこのような補正を組んだと思うが、今いくらになっているのか。

答弁 8月末現在で3億688万7521円となっている。今回の算出根拠としては、例年11月と12月の寄付額で年間寄付額の50%以上を占める結果となっているので、そのことを踏まえて増額補正を計上したものである。福智町のふるさと納税返礼品はどのようなものを送っているのか。

答弁 一番人気は無洗米。県が指定した17品目の中ではとんこつラーメン、もつ鍋、めんたいこが人気となっている。

質疑 指定管理施設支援金の内訳を尋ねる。

答弁 ふれあい交流会館の事業継続の支援金の内訳については、陶芸館には展示場とギャラリーの2部屋あるが、その壁を撤去することにより、従業員の配置の減少をし、ランニングコストを下げたいと言う要望が以前から寄せられていたため、今回コロナの給付金でその対応を図るため、予算計上している。周辺整備については、ふれあい交流会館の県道を挟んだ場所に必ずま屋等のスペースがあるが、そのの広告物が破損していたり、色が剥けているため更新を考えている。ふれあい市の施設については、施設の補修、備品の撤去等々、清掃作業等の経費がかかっているため、その分を支援するものである。

質疑 診療所会計赤字補填準備金について尋ねる。コスモス診療所をやめて、方城診療所一本にするのか。

と考えているのか。期日は決まっているのか。

答弁 方城診療所を増改築して、現在内科を、方城診療所に移すという考えであり、その設計の予算を今回計上している。

審査結果

当委員会に付託された議案、請願を慎重に審議した結果、すべて可決採択しました。



▲審議風景

厚生常任委員会報告

委員長 堀江 政洋 副委員長 尾崎さつき
委員 属 紀三嗣・田崎みゆり・小松 繁信・矢野 博文
所管課 住民課 / 福祉課 / 人権・同和对策課 / 保健課 / 診療所

主な質疑

令和2年度福智町一般会計補正予算

質疑 公共交通事業継続支援金の相手方はどこか。

答弁 平成筑豊鉄道に1900万円、西鉄バスに110万円。

質疑 西鉄バスの町内路線は廃止になるのか。

答弁 来年9月末に廃止させてほしいという話が来ている。沿線1市2町でそれを延期する申し立てをすることを検討している。

質疑 2款総務費にプレミアム商品券助成金240万とあるが、7款商工費のプレミアム商品券助成金とは別ものなのか。

答弁 同じものである。商品券総額を2千万円から3千万円に増やし、地方創生臨時交付金事業として実施するため、予算を組み替えた。

質疑 商品券のことを知らない住民がいるため、5千円でもいいから全住民に配った方がいいのではないか。

答弁 商工会と話し合ったうえで商品券販売を実施することとした。今回はこのやり方でご理解いただきたい。

令和2年度福智町立診療所事業特別会計補正予算

質疑 方城診療所管理費委託料の設計監理委託料については、先日町長報告で2つの診療所を統合し、統合後は方城診療所の施設を活用するという話が出たが、コスモス診療所の施設の方が新しいのでそちらを利用した方がいいのではないか。

答弁 確かにコスモス診療所の方が新しいが、それでも10年以上が経過して水道管等が老朽化し、維持管理費も高額になっている。またコスモス診療所は施設が大きいので、施設維持費が余分にかる。方城診療所を増改築し、コスモス診療所で行っている小児科・内科を方城診療所に集約して一元化を図りたい。

質疑 方城診療所横の方城保健センターも一緒に活用しないのか。

答弁 保健センターも一体として活用することを検討している。

質疑 コスモス診療所の施設は、統合後どうするのか。

答弁 町立診療所と診療内容が重ならないような民間の医療機関に移譲する予定である。具体的には、24時間体制の訪問看護や高齢者

医療に特化した医療機関、もしくは人工透析を行える施設等を想定している。

質疑 住民への周知を早くするべきではないか。全て決まってからお知らせするのでは遅いと思うが。

答弁 9月議会後に広報紙等を利用して周知し、住民の意見を集約したいと考えている。

意見 医療は経営も大事だが、住民の地域医療を守ることに重点を置いていただきたい。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。



▲審議風景

産業建設常任委員会報告

委員長 橋本 騰馬 副委員長 沼口 富生 議長 矢野 博文
委員 高津 鶴己・原田 幸美・皆川 高司・日比生 洋一
所管課 建設課 / 農政課 / 住宅課

主な質疑

令和2年度福智町一般会計補正予算

質疑 地方創生臨時交付金4億800万4千円については使用用途が決まっているのか、交付された金額のうち町長の裁量で使用用途を決めた分があるのか。あるとすれば、どれくらいの金額なのか。

答弁 地方創生臨時交付金4億800万4千円については国が示す例が数多くあり、福智町でできる効果が高いものを抜粋して今回の補正予算に計上している。議会承認後、9月30日までに県に申請する。今回の第二次補正については第一次の増減調整を兼ねている。学校のタブレット関係は2億7700万円財源更正し、それを含んだ予算計上である。

質疑 学校のタブレット端末については町長の裁量の働くところはないと思うが、町長が自由にしたい、これをやりたいという金額はなかったのか。

答弁 ハローペーパー給付金事業がある。特別定額給付金の基準日の後(令和2年4月28日以降)に、

コロナ禍で不安の中、出産をしたことに対して町長の指示により、お子さん一人につき10万円を給付するため、今回1500万円の計上を行った。

その他の案件

質疑 台風10号接近に伴う避難準備を9月6日午後4時30分に発出したが、実際に避難された方はどれくらいか。

答弁 218名

質疑 避難場所をコロナ対策で増やしたと聞くが何カ所指定したのか。

答弁 7カ所。

質疑 避難場所、避難にあたっての特定のトラブル、役場に対して意見・要望等があったか。現在把握している被害(災)状況は。

答弁 苦情等は多少あったが正式にはなかった。被害は、停電2件、民家3件、公共施設38件、町営住宅21件の合計64件。

質疑 福智町で子ども食堂を実際に運営している団体はあるのか。い

つどこで実施しているのか。

答弁 現在、町が把握しているのは金田地区で令和元年11月に設立されたボランティア団体「西田川子ども食堂」1件。令和2年5月号の広報紙に掲載している。

審査結果

当委員会に付託された議案を慎重に審議した結果、すべて可決しました。



▲審議風景

一般質問

(令和2年第3回定例会)

議員7人が町政を問う

一般質問は、町の行政全般にわたって、町長や教育長などに、方針や説明を求めるものです。

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。本議会での傍聴をお待ちしています。

質問者	質問事項	ページ
朝部 壽	政府より2次補正予算の交付金活用(予算配分)について 金田義務教育学校について 一般単独事業(土木工事)について	9
木戸 勝正	福祉課の業務内容について 各課の業務内容について 総務課の業務内容について 教育委員会の業務内容について	10
沼口 富生	空き家等対策の推進に関する特別措置法が平成27年より実質施行されているが福智町としての空き家問題の対策について 旧3町が合併して14年が経過しているが公共物件の統廃合の状況と住民との協議について 一人住まいの高齢者向けの住宅について 輝ヶ瀬～水落線の新設工事計画について	11
田寄みゆり	新型コロナウイルス対策の現状と課題について 西鉄バスの金田・方城線廃止について 金田義務教育学校への移転に伴う通学路の安全確保について 国・県管理の河川浚渫について	12
高津 鶴己	診療所の統廃合について 学校建設等について 公共施設の統廃合及び利活用策等について with Corona新型コロナウイルス感染症との共生について	13
木村 幸治	台風10号について(特別警報発令準備状況) 防災行政無線活用の工夫 防災マップについて	14
尾崎さつき	女性視点の防災対策について 小児ガン患者のワクチン接種について パートナーシップ制度について	15

※各議員が質問した事項の中から抜粋して掲載しています。

議会を傍聴しませんか!!

本庁舎4階の傍聴席入り口で、住所、氏名等を受付票にご記入いただき、受付箱に投函のうえ議場傍聴席にお入りください。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。(☎0947-22-7772)



朝部 壽議員

第2次地方創生臨時交付金事業の活用は

問 小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業2億4234万円とあるが、どのような事業なのか。

答 町長 国のGIGAスクール構想という補助事業の活用に伴う予算である。

問 環境整備事業の中で、タブレットを田川市郡で1万台、福智町が2千台を購入予定で、1台4万5千円とあるが、少しでも安く、財政負担にならないよう望む。

答 町長 町村会でまとめて買う方が安くなるため、その予定で進めている。

身障者の支援を問う

問 町内在住の身障者、1〜3級は何人が。

答 町長 令和2年9月現在、1級437人、2級194人、3級231人。

問 1、2級の方は支援金が支給されているようだが3級の方はどうか。

答 福祉課長 1、2級の方は障害年金が出ているが、これは身体障害者手帳の1、2級

ではなく、主治医等が判定した方に対して、障害年金1、2級相当という形で支給されている。3級の方は、障害者総合支援法のホームヘルパーやグループホーム、就労支援等のサービスを活用いただいている。**意見** 3級の方々も生活に支障があるので、ぜひ少しでも行政一体となり支援してほしい。

義務教育学校完成は

問 開校が5ヶ月遅れたが、全工程の完了はいつか。遅れた一番の原因は何か。

答 学校教育課長 全工程の完了は来年度。現在工事中のグラウンド、学童クラブ等は年内に完成予定。遅れた原因は大同等の災害に対する甘さや、梅雨が長かったこと、コロナの影響等。

問 コロナも原因の一つだろうが、各委員会や全員協議会で遅れについて色々と詰っていた方がい

るが、遅れた本当の原因はその以前ではないのか。

答 町長 工事全体が少しずつ遅れたことが原因であるが、住民の理解を得るために町内10ヶ所で地元説明会を行ったことも着工の遅れの原因である。

問 土地を購入する時に問題が生じ、そのことが一番の原因ではないか。

答 町長 土地購入において問題があったとは、町執行部は感じていない。



▲金田義務教育学校 外観

建設工事費を問う

問 当初の計画より建設工事費が大幅に増額

になっていくようだが、総額はいくらになるのか。

答 学校教育課長 工事予算額が49億円。そのうち40億円が建物、9億円が周辺整備の予定。

問 土地購入費は含まれているのか。

答 町長 別途、土地購入費が3億4100万円。

備品購入費を問う

問 備品購入費について、臨時会で無いと答弁されたが、本当に無いのか。

答 学校教育課長 備品は全て購入済のため、今後は無い。

問 今回の購入費については、特例または見積り入札なのか、3社に発注したようだが3社はどこで、発注金額はいくらか。

答 学校教育課長 見積り入札で(有)スギ、(株)カワニシ、(有)海老津屋の3社で、発注金額は把握していない。



木戸 勝正議員

福祉課の業務内容について

問 町立保育所の保育料と給食費の滞納状況について、滞納件数11件、167万9922円の滞納に対しての対応、処置はどうしているか。

答 町長

児童扶養手当法に基づき、児童手当から天引き、また債権者にお願いしながら継続納付中である。

問 障害者虐待法とはどのような法律でいつ施行されたのか。

答 町長

障害者虐待の防止、擁護者の支援を目的に平成

24年10月に施行された。

問 障害者虐待防止法の一つの障害者福祉施設の事業者等による障害者虐待が過去にあったか。

答 町長

虐待の相談や通報は年間を通して数件あるが、県に報告されたものは1件もなかった。

問 施設の事業主が年金や賃金を渡さない、財産や預金を勝手に使うなど、日常的に金銭を与えないという経済的虐待の報告はないか。

答 町長

私の方には報告はないが、担当課に確認して報告する。

各課の業務内容について

問 税金、使用料、家賃、貸付金等の滞納金が多いが各課の徴収方法、法的措置について、国保の1億7072万4801円の滞納について問う。

答 町長

国保税に限らず、督促状、催告を行い、納付がない場合は法令に基づき給与、預金の差し押さえ処分をしている。

問 各税5年以上の滞納は不納欠損をしているか。また執行停止の手続きをしているか。

答 町長

地方税法第18条福智町財務規則42条に基づき不納欠損を実施している。執行停止も地方税法第15条の7に基づき行っている。

問 現在坪刈は実施しているか。米の税金はどのような計算方法か。

答 町長

坪刈は実施していない

問 農業所得は収入決算より算定する。米、麦等農産物を売った収入から経費を引いたものが農業所得として課税の対象になる。

答 町長

町としては、県の家屋調査研修を受講し、県税事務所の指導を仰ぎながら、税務経験がある固定資産評価委員と実施している。

総務課の業務内容について

問 各行政区からの要望書、陳情書、懇談会その他の申請が提出された場合、回答しているか。

答 町長

内容別に精査し担当部署ごとに回答、若しくは総務課で取りまとめて回答書を出している。

問 5、6カ月回答がなく連絡もない案件があるがどうなっているか。

答 総務課長
指摘された件は今後気を付けて検討する。

金田義務教育学校の登下校について

問 10力所の公民館での説明会の時に、通学距離が長い為、スクールバスの運行希望意見が多く実行計画をしていると聞いたがどうなっているか。また今年度は、熱中症の方も多かったため、平成筑豊鉄道の定期券発行を検討してはどうか。

答 町長

では、現在実施計画はない。赤池・方城地区との公平さを欠くという判断。平成筑豊鉄道利用希望者については、上金田、平原地区に文書を配布し要望があれば保護者の責任をもって認める通知を出している。

答 教育長
スクールバスについては、現在実施計画はない。

赤池・方城地区との公平さを欠くという判断。平成筑豊鉄道利用希望者については、上金田、平原地区に文書を配布し要望があれば保護者の責任をもって認める通知を出している。

空き家等の対策について

問 平成26年11月に公布された「国の空き家等特別措置法」に基づく空き家等の対策はどのように行ってきたのか。

答 町長

空き家対策は深刻な問題として捉え、現在所有者の特定調査を行っている。空き家バンクに登録をしていただき、所有者または管理者に「空き家等解消支援事業」を活用してもらい、奨励金を交付している。



沼口 富生議員

来るようになってきているが、台風等の自然災害が多く発生している現状を考えると空き家対策は急がなければならないと思う。

答 町長

現時点では危険な家屋などの審議までには至っていない。

公共物件の統廃合の現状とその際の住民との協議はどうなっているか

問 コスモス診療所を廃止し、方城診療所に統合する事が報告された。診療所の赤字会計を考えると統合も仕方ないと考えますが、住民の意見を聞く場

どはあったのか。

答 町長

平成19年に町民主体の福智町行政改革推進委員会から出た「行財政大綱」の中で、診療所は町内一つと答申された。この方針に基づいて現在公共施設等の統廃合を進めている。方城診療所の方を利用する理由は、ランニングコスト等を考慮したためである。

問 診療所・保健課がコスモスから移転した後、その施設の活用予定は。また、旧赤池町役場の跡地、天郷青年の家跡地など活用については。

答 町長

コスモスについては、民間医療機関への移譲を計画している。できれば町立診療所と医療内容が重ならない、24時間訪問看護ができる施設や、人工透析ができる医療機関を想定し公募していきたい。旧赤池町役場跡地は条件付で公募したが不調に終わった。今後は定住促進に向けた宅地

分譲の話を進めたい。天郷青年の家は利用者が多数いたので、跡地についてはもう一度人の呼べる施設の構想を練っているとこだ。

一人住まいの高齢者向けの住宅対策は

問 高齢者が増加する中、一人で生活している方も多くいるが、今回の台風の時など一人であることが怖いと言っている方もいる。町として何らかの対策はできないのか。

答 町長

台風等で心配している一人住まいの高齢者も多数いる。その際は事前に地域包括支援センター等に相談していただければ、随時対応していく体制は整っている。

問 一人住まいの高齢者向けの町営住宅は無いと聞いているが、そんなに広くない、住民福祉の点からも小さな町営住宅の建設は考えられないか。

分譲の話を進めたい。天郷青年の家は利用者が多数いたので、跡地についてはもう一度人の呼べる施設の構想を練っているとこだ。

答 町長
福祉対応型の住宅を考えている。また、広すぎる住宅に一人で住むことは効率も悪く、新しいスタイルのあり方ではないかと感じている。新たに町営住宅建設の際には、町の課題として検討していく。

輝ヶ瀬く水落線の新設工事は

問 輝ヶ瀬く水落線の新設工事は、平成25年度頃から始まっているが、工事の進捗状況と今後の計画は。

答 町長

以前令和10年度以降に完成という動きもあつたが遅すぎるため、町としても予算要求をし、令和6年度までに完成する予定である。



▲輝ヶ瀬水落線



表紙の紹介

上野小学校

わたしたちは、上野小学校の5・6年生です。上野小学校には、運営・集会委員会、放送・環境委員会、図書委員会、保健・給食委員会という4つの委員会があり、学校生活をよりよくするためにそれぞれの委員会が様々な活動に取り組んでいます。

10月の代表委員会では、図書委員会から「読書月間の取組」について提案され、活発な議論のもと可決されました。少ない人数ですが、一人一人がしっかりと責任を果たしながら、これからも活動していきたいと思えます。



今年はいまだかつてない感染症『新型コロナウイルス』で明け暮れそうです。対応が遅れた世界各国の感染者や死亡者が多いのに驚かされます。日本も対岸の火事ではありません。コロナの影響で福智町も各種行事や催事が中止になりました。毎月の老人クラブ主催のふれあい交流会も中止になり、地域の高齢者の健康や情報が入りにくくなっています。ただし、我が地域ではグラウンドゴルフが盛んで屋外でのスポーツということで、毎週土・日・祭日にグラウンドや公園でゲームを行っています。毎回30人程度参加です。もちろん全員マスク着用です。真夏の暑い時もマスク着用で皆汗を流しながら『心と身体の健康のために』交流しました。

4月から5月にかけてコロナ対策のため休止していましたが、高齢者が多いため、家の中でじっとしているのがかえって健康のために良くないと話し合い、5月下旬より再開しました。おかげでコロナのストレスから多少緩和され、情報も飛び交います。

早く有効なワクチンができて終息するのを祈っています。来年は良い年になりますように。

石谷 光信



編集後記